

第 164 回東京エリア Debian 勉強会

salsa と東京エリア debian 勉強会の Web/原稿システムの仕組み

Norimitsu Sugimoto (杉本 典充)
dictoss@live.jp

2018-06-16

自己紹介

- Norimitsu Sugimoto (杉本 典充)
- dictoss@live.jp
- Twitter: @dictoss
- Debian 使って 15 年以上。sarge が testing の頃から使っている
- 仕事はソフトウェア開発者をやってます
- python と Django の組み合わせで使うことが多いです

アジェンダ

- はじめに
- 東京エリア Debian 勉強会のシステム
- salsa.debian.org
- 東京エリア Debian 勉強会の salsa のシステム
- 今後の課題とまとめ

勉強会のシステム

- web サイト
- 原稿データ、スライドデータの tex の原稿システム
- 参加者申し込み「connpass」
- DebianJP のメーリングリスト



salsa.
debian.
org

salsa とは

- salsa.debian.org
- Debian プロジェクトが 2017 年から運用を開始したプロジェクト管理サーバ
- gitlab が動作している
- Kubernetes(k8s) と連携した CI/CD 処理

alioth から salsa への移行

- 2003 年から alioth というサーバが稼働し、FusionForge が動作
- 2016 年頃から FusionForge の開発が滞る状況になる
- alioth の将来をどうするか議論が始まる
- Alioth Sprint 2017 で salsa 誕生
- 2017 年 12 月 15 日に salsa のベータ運用が開始
- 2018 年 01 月 27 日に salsa の本運用が開始
- 2018 年 05 月 31 日に alioth 停止



salsa の利用 の仕方

ドキュメント

- <https://wiki.debian.org/Salsa/>
- <https://wiki.debian.org/Salsa/Doc>
- <https://docs.gitlab.com/>

アカウントの登録

- Debian Developer
 - debian.org のメールアドレスでログイン可能
 - LDAP 連携している
- Debian Developer 以外
 - <https://signup.salsa.debian.org/> でアカウントを作成する
 - アカウントは、"-guest" という文字列が末尾につける必要あり

チームの作成

- git リポジトリより前にまず「チーム」を作成する
- チームの作成は、
<https://signup.salsa.debian.org/> で作成可能
- 作成したチームのページの例
 - <https://salsa.debian.org/tokyodebian-team>
- チームを作ったユーザは、初期設定でチームの Owner 権限を割り当て

チームへのメンバの参加

- チームをつくったあとは、協力してくれるメンバを増やしましょう
- `https://docs.gitlab.com/ee/user/permissions.html`
- チームの Owner または Master の権限を持っている人がユーザ追加できます
- メンバになりたい場合は「アクセス権限をリクエストする」ボタン押下で依頼できる


プロジェクトの作成

- 画面上部からプロジェクトを追加できる
- 1つのプロジェクトにつき1つの git リポジトリ
- 複数の git リポジトリが欲しい場合は、チーム内に複数のプロジェクトを作る

- CI (Continuous Integration) と CD (Continuous Delivery)
- git push のタイミング、webhookなどでCI/CDを起動する
- gitlab は Kubernetes(K8s) のインスタンスである”Runner”がCI/CD処理を実行する
- Shared Runners、Group Runners、Specific Runners
- Runner サーバのスポンサーを募集中

ユーザ個人ページの設定

- 「SSH Keys」ページから SSH 鍵を登録できる
- git pull、git push 時に SSH 鍵で認証が済むため作業がスムーズ



東京エリ
ア Debian
勉強会の
salsaのシス
テム

alioth から salsa への移行の設計と作業内容

- alioth が 2018 年 5 月 31 日で停止するため、salsa にデータを移行した
- git リポジトリ、web サイト、PDF ファイル配備の仕組みを移行した
- `https://wiki.debian.org/tokyodebian_salsa_migrate`

ファイルのライセンス

- 東京エリア Debian 勉強会の git リポジトリに収録しているファイルのライセンスは GPLv2 または GPLv3
- 原稿やスライドデータを作成していただける方はライセンスをご了承の上、ご利用ください

チームとメンバ

- Debian 勉強会では「tokyodebian-team」というチーム名を利用
- メンバの権限ポリシーは定めていない
- コミット権をもらうにはメンバになる必要がある
- patch を投げる方法 <https://tokyodebian-team.pages.debian.net/prework-update.html>

静的ファイル公開機能:Pages

- web サイトは
<https://tokyodebian-team.pages.debian.net/> で
公開中
- Pages という静的ファイルの web 公開機能を使っている
- git リポジトリ名を URL のホスト部の命名規則と同じに
すると、"/" 直下でファイル公開できる
- チーム内の他のプロジェクトは、
<https://tokyodebian-team.pages.debian.net/pdf22018/> の
ようにプロジェクト名と同じディレクトリ名がつく



web サイト
の仕組み

web サイトの仕組み

- ソースコードは、
`https://salsa.debian.org/tokyodebian-team/tokyodebian-team.pages.debian.net`
- Emacs Muse を利用した html テンプレートとデータから html をビルドする仕組み
- git push すると CI/CD を実行して、html を生成して自動配備する
- CI/CD の設定ファイルは、`".gitlab-ci.yml"`
- `https://tokyodebian-team.pages.debian.net/editing.html`

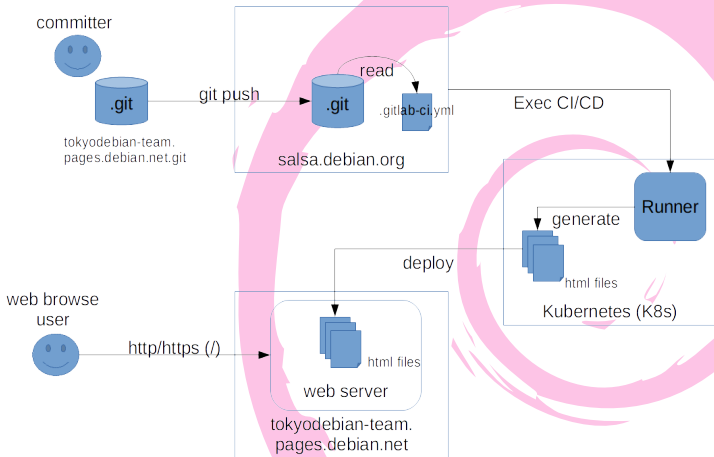


Figure: web サイトへ HTML ファイルを配備する CI/CD 処理の流れ



原稿の仕上げ
システム

原稿システムの仕組み

- ソースコードは、<https://salsa.debian.org/tokyodebian-team/monthly-report>
- TeX を利用した組版システム。tex dvi pdf の順に変換して原稿ファイルになる
- 有志によって原稿とスライドのテンプレートを作成
- 豊富な原稿量は勉強会参加者の長年の積み重ね

原稿システムの複数 git の使い分け

- tex の git リポジトリと、公開用 pdf ファイルの git リポジトリは分けている
- "pdf2005.git" から "pdf2018.git" に分割し、git リポジトリの中にビルドした pdf ファイルをコミットしている
- CI/CD は tex の git リポジトリでは行っていない
- CI/CD は "pdf20yy.git" の git リポジトリへの push 時に処理し、"/pdf20yy/xxx.pdf" のパスで web 公開している

PDF ファイルを配備する CI/CD 処理の流れ

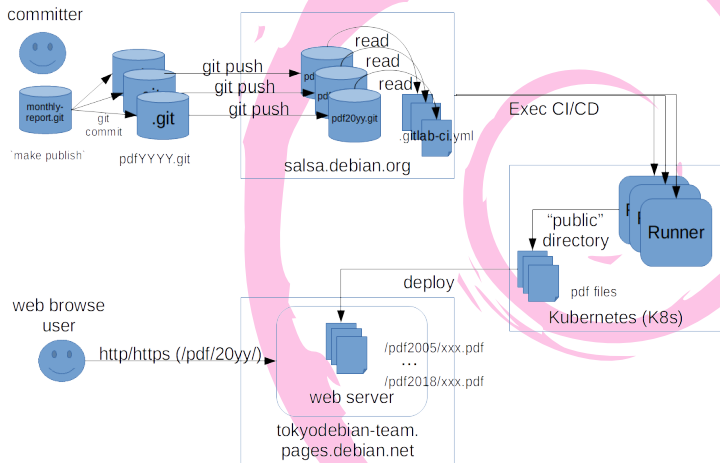


Figure: web サイトへ原稿及びスライド PDF ファイルを配備する CI/CD 処理の流れ

今後の課題

- 原稿システムの CI/CD 処理に失敗することがある
- web サイトをリニューアルしたい
- 原稿ファイルと tex ビルドシステムの UTF-8 対応
- 原稿の寄贈が減ってきており、半年のまとめ冊子のページ数が減ってきている

まとめ

- salsa で提供している gitlab の機能と設定を紹介しました
- 東京エリア Debian 勉強会の web サイト、原稿システムを salsa へ移行しました
- 資料の作成と公開は、自分の学びになるだけでなく、他の参加者の学びにもなると思います